

令和2年6月3日

保護者の皆様へ

小松市立国府中学校
校長 坂口 順一

学校再開後の部活動について

青葉の候、保護者の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より本校の教育活動にご理解・ご協力を賜り、本当にありがとうございます。

昨日より学校での教育活動が再開しましたが、今後の部活動について下記のように計画しておりますのでご案内いたします。

記

1. 活動再開日 6月8日（月）

2. 活動計画

段 階	期 間	活動内容・頻度 等	
1	6/8（月）～6/12（金）	ミーティング（2，3年生） オリエンテーション	週2～3回 1時間程度
2	6/15（月）～6/25（木）	1年生仮入部 個人・少人数による活動	週2～3回 1～2時間
	6/26（金）	部活動発足集会 ミーティング（1～3年生）	
3	6/29（月）～7/11（土）	グループ練習の再開	週2～3回 1～2時間
4	7/16（木）～7/31（金）	新チームへの移行	週2～3回 2～3時間
5	8/1（土）～	従来の練習	週3～4回 2～4時間

3. 備 考

- 休業による体力の低下や今後の暑さへの順応等を考慮し、練習頻度や練習時間については段階的に回復させていきます。
- 7月までの（1～4段階の期間）土曜日の練習は原則行いません。
- 3年生の活動については各部活動で決定しますが、最長で7/11を予定しています。

4. 大会等の中止

【運動部】 加賀地区ブロック大会・石川県中学校総合体育大会・北信越大会・全国大会

【文化部】 石川県吹奏楽コンクール・北陸大会・全国大会

※裏面に、各連盟からのメッセージを掲載しました。

【中学校体育連盟・メッセージ】

運動部活動に所属する生徒の皆さんへ

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため臨時休校になったり、不要不急の外出自粛を求められたりしていました。臨時休校中の家庭での学習や生活は、普段の学校生活との違いを肌で感じていたのではないのでしょうか。全国に発令されていた緊急事態宣言が感染状況の推移により少しずつ解除され、地域によって学校が再開され始めています。しかしながら第2波の到来も心配されており、引き続き「3密をさける」、「マスクの着用」など、新たな生活様式が求められています。

そうした状況の中、日本中体連は今年の夏の全国中学校体育大会の中止を決定しました。石川県中体連、及び加賀地区、能登地区中体連では、県体の開催を目指しその予選となる各ブロック大会の実施を考えてきましたが、「皆さんの命と安全を守る」ことを最優先に考え、令和2年度加賀地区、能登地区ブロック大会の中止、石川県中学校体育大会の中止をせざるを得ないという判断をしました。

皆さんが、ブロック大会を勝ち抜き、県体で最高のパフォーマンスが発揮できるよう、これまで部活動に熱心に取り組んできたことはよく分かっています。ですが、生徒の皆さんはもちろん、大会に関わる多くの方々の感染リスク、また、3月から部活動の中止に伴う選手の皆さんの練習不足によるけがの発生など、かけがえのない命と健康を守ることを第一に考えた上での判断です。皆さんの気持ちを思うと本当に残念でなりません。

特に、3年生の皆さんは、特別の思いがあると思いますが、部活動を通じて培ってきたことは、これからの人生に役立つことばかりです。困難に打ち勝つ心と体、そして共に頑張ってきた部員との絆は、決してなくなるものではありません。これからも後輩に何事にも一生懸命に挑戦する勇姿を見せてください。今後のステージに生かされていきます。そして、中学校卒業後も運動部活動に積極的に参加したり、生涯を通じて運動に親しんだりしてほしいと願っています。

少しずつ再開された学校生活ではありますが、感染前の生活にはしばらくは戻れないかもしれません。今後の生活に気を配りつつしっかりと目標を持ち、明るい未来を信じて前向きに頑張っていきましょう。

石川県中学校体育連盟 会長 宮崎 聡
加賀地区中学校体育連盟 会長 河南 光昭
能登地区中学校体育連盟 会長 永草 正彦

【石川県吹奏楽連盟・メッセージ】

石川県吹奏楽連盟に所属するすべての最上級生の皆様へ

石川県吹奏楽連盟理事長 田中一宏

中学校・高等学校3年生の皆さん、いかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルスの感染拡大によって学校の臨時休業や部活動の制限など、現在も皆さんの日常生活に大きな影響を与えていることといます。そのような状況の中、全日本吹奏楽連盟、中部日本吹奏楽連盟、北陸吹奏楽連盟の上位大会の中止を決定し、それを受けて、石川県吹奏楽連盟も10月までのコンクールを中心とした行事をすべて中止いたしました。参加予定であった皆さんはもちろん、来場するお客様やコンクールに関わる役員など多くの方々の生命と安全を守ることを最優先に考えた上での判断です。

3年生の皆さんにとっては、1、2年生と取り組む最後の吹奏楽コンクールを目標として毎日の練習に励み、努力を重ねてきた中でのコンクール中止の決定は、皆さんにとって、辛い気持ちや悲しみ、悔しさ等多くの様々な気持ちが交差していることでしょう。しかし、そんな中、今感じているその気持ちを受け入れて、認めていくことが大切です。そして、「新たな目標」に向かって、まずは、自分の気持ちに素直になり、身近にいる誰かに我慢せずにその想いを吐き出すことが、気持ちを切り替えていくための第一歩だと思います。

緊急事態宣言も解除され、私たちの生活も、新しい局面を迎えることでしょう。少しずつではありますが、吹奏楽部の活動も、以前とは違う形で再開されると思います。おそらく、顧問の先生方も、皆さんとの限られた時間の中で、「新たな目標」を持ち、皆様とそして後輩たちとともに、専門的な技術だけではなく、仲間を思いやる心、時間の大切さ、礼儀や目上の人を敬う心などを大切に活動していくことでしょう。

石川県吹奏楽連盟は、皆さんを最後の最後まで応援します。今だけではありません。皆さんがこのつらい時期を越え、来春、高校生、大学生、社会人になっても、当連盟は皆様方が「吹奏楽」「音楽」を愛することができるよう、様々な企画・コンサートを運営し、いつの日か互いに演奏でき、みんなで互いの演奏を聴き合えることができるよう、邁進します。

春は必ずや、やってきます。その日が来ることを信じ、学校の顧問の先生方、そして1、2年生の後輩とともに、吹奏楽の活動を通して、「次なるステージ」を目指し、進んでいってほしいと思います。